

2025 年 3 月 28 日

March 28, 2025

学生・教職員各位

To all students and faculty staffs

藤田医科大学 精神・神経病態解明センター
センター長 貝淵弘三

**令和 7 年度
第 2 回 FUJITA ブレインサイエンスセミナー 開催通知
Information on FUJITA Brain Science Seminar 2025**

◆ 演者：長谷川 成人 先生（東京都医学総合研究所）
「神経変性疾患の病態解明と治療をめざして」

Masato Hasegawa (Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science)

- Toward understanding the molecular pathomechanisms and development of therapies of neurodegenerative diseases -

日時: 2025 年 5 月 13 日 (火) 17:00 - 18:00

Time and Date: Tuesday, May 13, 2025, 17:00-18:00

場所: 大学 2 号館 11 階 1101 とオンライン (Zoom) のハイブリッド開催

※学外者はオンライン (Zoom) のみ

Room: University personnel can attend the seminar at 1101, 11F, Building No.2 and online Zoom. Others can attend it online (Zoom).

受講対象者: 学内外にかかわらず、どなたでもご参加いただけますが、生命科学について大学学部生程度以上の知識をお持ちであることが望ましいです。

参加方法: オンラインでご参加の方は、下記サイトより必ず事前登録してください。

このミーティングに事前登録する：

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Semw3ZmQQXaHkIc5GKU3nQ

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

使用言語: 日本語

Language: Japanese

講演要旨: 神経変性疾患の発症、病態進行過程において、異常型となったタンパク質がシードとなって正常型タンパク質を線維化し、異常型タンパク質が脳内を伝播することで病変が広がり、症状が進行する「シード依存凝集」や「プリオン様伝播」が提唱され検証が進んでいる。患者脳に蓄積するタンパク質線維の構造もクライオ電子顕微鏡解析で次々に解明され、この考えを支持するものとなっている。異常タンパク質の折りたたみ構造で神経疾患が分類される時代となってきた。これまでの私達の取り組みについて紹介し、今後の診断、治療薬開発の方向性について議論したい。

担当者連絡先 :

- ・講演内容に関して：佐野 裕美（精神・神経病態解明センター 内線： 9379 メール：hiromi.sano@fujita-hu.ac.jp）
- ・その他：鶴田 未奈子・池田 彩乃（研究支援部 研究支援課 内線：2641 メール：icbs@fujita-hu.ac.jp）